



第320号

2015年(平成27年)9月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 竹浦 久司
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

多職種
公開講座

第5回 中央地区地域オープンセミナー

<臨床検査技師が学びたい放射線領域の画像診断シリーズ>

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数



「CT検査の頭部・胸部・腹部の画像診断ー基礎からの読影ー」

今回で3回目となる画像診断シリーズですが、毎回多数の方が参加していただける人気のセミナーとなりました。今回も放射線技師の方に、CTの画像診断を臨床検査技師の方でも分かるように、症例を含めて説明していただきます。電子カルテの普及とともに、CT画像を見る機会が増え、検査データを理解するうえで画像診断は重要となってきます。基礎的なことから説明していただけるので、検体検査、生理検査をされている方、他職種の方々にも参加していただける企画となっています。多数の方々の参加をお待ちしています。

日時 平成27年9月12日(土)
14:30~17:00(受付14:00~)

会場 あべのメディックス 6階ホール

参加費 500円(一律)

定員 約160名

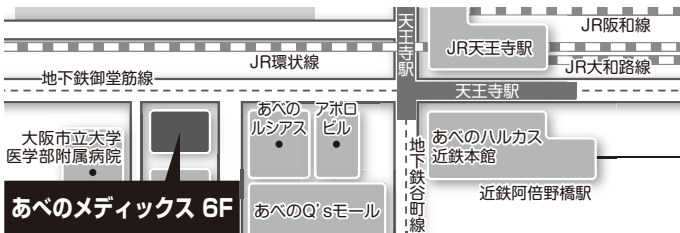
連絡先 中央地区責任者 大阪府済生会野江病院 臨床検査科
森 啓悟
E-mail: kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0401(内線280)

司会 大阪府臨床検査技師会 地区事業部 部長 田畑 泰弘

講師 1. CTの基礎と頭部編
講師: 医療法人育和会 育和会記念病院
放射線科技師長 渡邊 博隆

2. 胸部編
講師: 地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター 薬剤技術部
放射線科 藤原 健

3. 腹部編
講師: 地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター 薬剤技術部
放射線科 大西 国允



学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

Theme 「検査値は採血条件でこれだけ変わる！」

講師 積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 松本 美枝

今回は「採血条件と検査値」をテーマに取りあげました。分析装置で精度管理やメンテナンスをいくらきっちり行っても、検体採取の段階で不適切な採血を行ってれば病態を反映する検査結果が得られません。

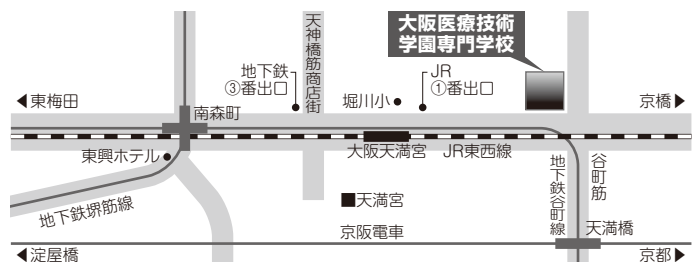
「溶血や採血管間違い」以外にも検査結果に影響を及ぼす条件がまだまだ沢山あります。今回は、その禁忌事項を再確認しようというのが狙いです。新人技師さんはもちろんのこと採血に携わっている他部門の方も、この機会にぜひ勉強してみませんか。

日時 平成27年9月10日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail: yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数



台風等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

前半では、糖尿病と関わって20年、常勤の糖尿病専門医のいない病院で、月1回の糖尿病教室と入院・外来患者さんへのSMBG（血糖自己測定）の指導を行ってきたCDEJの苦労話をご紹介します。視覚障害とまではいなくても殆ど見えていない人を目の前にして「この人、インスリン注射やSMBGは本当にできるの？」と思ったことはありませんか？そんな時、皆さんはどうされていますか？SMBG機器の選択や、糖尿病指導用の冊子の作成などの現状と問題点を提起いただき、皆さんと一緒に考えたいと思います。

後半では、生理検査担当技師ならではの患者さんとの関わりを中心にお話いただきます。生理検査では「これって何の検査ですか？」と患者さんによく尋ねられると思います。患者さんに納得して理解していただけるように、各種検査の特徴を踏まえた簡潔な検査説明ができる知識を身につけておく必要があります。また予想もしていないような質問に柔軟に対応できるスキルも不可欠です。今回は比較的検査時間が長く、また患者さんも話しやすい状況下にある超音波検査を中心に、日常的に交わされる検査説明についてお話していただきます。ぜひ、多くの方の参加をお待ちしております。

日時 平成27年9月15日(火) 19:00~20:30

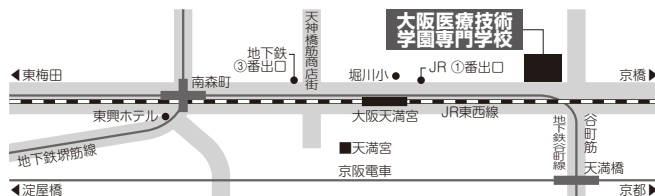
会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 500円(一律)

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

1 「施設紹介・活動報告～CDEJとして」
講師：市立ひらかた病院 中央検査科 山本 広世

2 「これって何の検査ですか？
～とある生理検査室での日常, 超音波検査を中心に～」
講師：住友病院 診療技術部 超音波技術科 津村 京子



糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位

(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。2群の単位は取得できません。)

NST・褥瘡部会 平成27年度 第1回 NST・褥瘡講演会

予告

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年は、NST認定試験対策、話題のサルコペニアに絞ってじっくり講習いたします。

NSTを発足して数年・・・中弛みの時期に差し掛かっている施設もあるのではないのでしょうか？

日頃の問題など意見交換しませんか？皆さまお誘いあわせのうえ、ご参加ください。

認定試験対策

1. NST専門療法士認定試験対策

講師：多根総合病院 看護部 林 洋輔

2. サルコペニアについて

講師：関西医科大学 健康センター 教授 木村 稔

日時 平成27年10月10日(土) 14:30~16:30

会場 多根総合病院 4階講堂

定員 50名

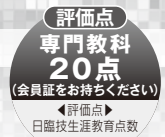
参加費 500円(一律)

連絡先 多根総合病院 中央検査部 堀 仁
E-mail: chuken@tane.or.jp



台風等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

「第12回 心エコー実技研修会」



今年もご好評いただいております心エコー実技研修会を開催いたします。本研修会は、どの研修会よりも受講者の皆様にも少しでも長くプロープを持っていただけることをモットーとしております。例年通り、少人数制にすることにより、いまだ聞けないことや日常の悩みなどを、経験豊富な講師陣に気軽に聞ける環境を実現しました。

各コースも充実しており、ひたすらプロープを持って実技のみを行う実技集中コース、基本的事項を中心に学習するベーシックコース、各疾患に応じた病態生理・検査の進め方などを学習するスキルアップコース、さらにすべての講義を聴講し、知識の再確認が行える講義集中コースを設けました。自施設に指導者がいない方、日常の検査にお困りの方、さらなるスキルアップを目指したい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成27年10月11日(日) 9:30~18:20 平成27年10月12日(月) 9:30~17:20
会場 大阪府医師協同組合本部

	時間	実技集中コース (初心者~中級者 対象)	ベーシックコース (初心者~初級者 対象)	スキルアップコース (初級者~中級者 対象)	講義集中コース (初心者~中級者 対象)	
1日目	9:10~9:30	受付				
	9:30~9:35 (5分)	開会・オリエンテーション				
	9:35~10:15 (40分)	全体講義「大臨技お勤めルーチン検査法」				
	10:15~10:30 (15分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩	
	10:30~12:00 (90分)	実技講習① (4~5名/1台)	講義B① 「心エコーに役立つ解剖のいろは」 講義B②「各種計測法のいろは」	実技講習① (3~4名/1台)	講義B① 「心エコーに役立つ解剖のいろは」 講義B②「各種計測法のいろは」	
	12:00~12:10 (10分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩	
	12:10~13:10 (60分)	ランチョンセミナー①「未定」				
	13:10~13:20 (10分)	移動・休憩	休憩	移動・休憩	休憩	
	13:20~14:50 (90分)	実技講習② (4~5名/1台)	講義B③「僧帽弁疾患の評価法」 講義B④ 「大動脈弁疾患の評価法」	実技講習② (3~4名/1台)	講義B③「僧帽弁疾患の評価法」 講義B④ 「大動脈弁疾患の評価法」	
	14:50~15:05 (15分)	休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩	
	15:05~16:35 (90分)	実技講習③ (4~5名/1台)	実技講習① (3~4名/1台)	講義S①診断力を向上させる 「低流量・低圧較差AS」 講義S②診断力を向上させる 「僧帽弁逸脱と機能性MR」	講義S①診断力を向上させる 「低流量・低圧較差AS」 講義S②診断力を向上させる 「僧帽弁逸脱と機能性MR」	
	16:35~16:50 (15分)	休憩	休憩	休憩	休憩	
	16:50~18:20 (90分)	実技講習④ (4~5名/1台)	実技講習② (3~4名/1台)	講義S③診断力を向上させる 「人工弁を極める！」 講義S④診断力を向上させる 「感染性心内膜炎」	講義S③診断力を向上させる 「人工弁を極める！」 講義S④診断力を向上させる 「感染性心内膜炎」	
	2日目	~9:30	集合・移動			
		9:30~11:00 (90分)	実技講習⑤ (4~5名/1台)	講義B⑤ 「収縮能指標を臨床に活かす」 講義B⑥ 「拡張能指標を臨床に活かす」	実技講習③ (3~4名/1台)	講義B⑤ 「収縮能指標を臨床に活かす」 講義B⑥ 「拡張能指標を臨床に活かす」
		11:00~11:15 (15分)	休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩
11:15~12:45 (90分)		実技講習⑥ (4~5名/1台)	実技講習③ (3~4名/1台)	講義S⑤診断力を向上させる 「心不全:基礎から運動負荷まで」 講義S⑥診断力を向上させる 「いろんな肺高血圧症」	講義S⑤診断力を向上させる 「心エコーに役立つ解剖のいろは」 講義S⑥診断力を向上させる 「いろんな肺高血圧症」	
12:45~12:55 (10分)		移動・休憩	移動・休憩	休憩	休憩	
12:55~13:55 (60分)		ランチョンセミナー②「未定」				
13:55~14:05 (10分)		移動・休憩	移動・休憩	休憩	休憩	
14:05~15:35 (90分)		実技講習⑦ (4~5名/1台)	講義B⑦「壁運動異常を見極める」 講義B⑧ 「症例から学ぶ報告書作成の実際」	実技講習④ (3~4名/1台)	講義B⑦「壁運動異常を見極める」 講義B⑧ 「症例から学ぶ報告書作成の実際」	
15:35~15:50 (15分)		休憩	移動・休憩	移動・休憩	休憩	
15:50~17:20 (90分)		実技講習⑧ (4~5名/1台)	実技講習④ (3~4名/1台)	講義S⑦診断力を向上させる 「ACS:梗塞から解離まで」 講義S⑧診断力を向上させる 「多彩な心筋症を見破る！」	講義S⑦診断力を向上させる 「ACS:梗塞から解離まで」 講義S⑧診断力を向上させる 「多彩な心筋症を見破る！」	
17:20	閉会・解散					
講義内容	「大臨技お勤めルーチン検査法」	大臨技が自信を持ってお勤めするルーチン検査法(検査の進め方)をわかりやすく解説します				
	講義B①「心エコーに役立つ解剖のいろは」	心エコーに必要な心臓の解剖を概説し、心エコー検査に活かせる基礎知識を解説します				
	講義B②「各種計測法のいろは」	各計測に関する標準的な方法、注意点・ピットフォール、さらに計測値の妥当性について解説します				
	講義B③「僧帽弁疾患の評価法」	僧帽弁および僧帽弁複合体としての解剖や構造を解説した上で、エコーでの観察ポイントや評価法について解説します				
	講義B④「大動脈弁疾患の評価法」	大動脈弁の解剖や構造を解説した上で、エコーでの観察ポイントや評価法について説明します				
	講義B⑤「収縮能指標を臨床に活かす」	収縮能評価に関する指標を概説し、その考え方、注意点やピットフォールなどを解説します				
	講義B⑥「拡張能指標を臨床に活かす」	拡張能評価に関する指標を概説し、その考え方、注意点やピットフォールなどを解説します				
	講義B⑦「壁運動異常を見極める」	壁運動異常を見逃さないためのポイントを解説し、冠動脈を考慮した診断ができるように解説します				
	講義B⑧「症例から学ぶ報告書作成の実際」	実症例を提示し、報告書作成のポイントを解説します				
	講義S①「低流量・低圧較差AS」	新ガイドラインでも提唱されている低流量・低圧較差ASや奇異性ASなど、さまざまなASの理解を目指します				
講義S②「僧帽弁逸脱と機能性MR」	臨床でよく遭遇する僧帽弁逸脱と機能性MRIに絞って、診断~報告、フォローアップに必要な内容を解説します					
講義S③「人工弁を極める！」	大動脈・僧帽弁における人工弁置換術後例における検査の進め方・その評価法を解説します					
講義S④「感染性心内膜炎」	この研修会では初めてのテーマである「感染性心内膜炎」について説明し、診断や報告書作成に必要なポイントを解説します					
講義S⑤「心不全:基礎から運動負荷まで」	心不全の病態を基礎から理解し、簡単な運動負荷を用いた診断法まで解説します					
講義S⑥「いろんな肺高血圧症」	肺高血圧症のニース分類に合致したさまざまな病態を解説し臨床に活かします					
講義S⑦「ACS:梗塞から解離まで」	急性心筋梗塞から大動脈解離まで、ACSがしっかり診断できるよう解説します					
講義S⑧「多彩な心筋症を見破る！」	各種心筋症のポイントを解説し、血行動態を加味した報告書の作成を目指します					
募集人員	100名(実技集中コース20名、ベーシックコース30名、スキルアップコース30名、講義集中コース20名)					
参加資格	臨床検査技師、医師、放射線技師、他、医療従事者で心エコーを勉強したい方ならどなたでも参加できます					
参加費	全コース一律 会員21,000円・非会員22,000円(講義用テキスト代、昼食代2日分込み) ※実技集中コースにはテキストはありません(希望者への販売は行います) *会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属している技師 *非会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属していない技師および他職種の方(大阪府以外の他府県技師会の会員は非会員となります)					
応募期間	平成27年9月1日(火)~平成27年9月11日(金) 9月1日以前の申込みに関しては受付いたしません					
申込み要項	以下の項目を全て記入のうえ、メールにて下記アドレスへ申込みください 1. 希望コース 2. 氏名 3. カナ氏名 4. 年齢 5. 性別 6. 職種 7. 施設名 8. 部署名 9. 施設住所 10. 施設電話番号 11. 緊急用携帯アドレス 12. 会員or非会員 13. 大臨技会員番号(会員のみ) 14. 経過年数 15. あなたご自身の1ヶ月の検査件数(概算で結構です) (注意事項)原則、メールの返信は申込時のアドレスに返信します					
申込先	seiribukai@gmail.com 1メール1名でお願いします(同じメールアドレスを複数回利用するのは可能です)					
主催	大阪府臨床検査技師会 学術部 生理検査部門 問い合わせ先:西宮渡辺心臓・血管センター 川崎 俊博(kawasaki4552@gmail.com)					

平成27年度 日臨技近畿支部 生理検査研修会開催案内

評価点
専門教科
20点
(日臨技会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 実務担当技師会：公益社団法人 大阪府臨床検査技師会



『コース別生理検査講座』

～診断・治療に結びつく基礎的知識とスタンダードな検査法を目指して～

日時 平成27年11月8日(日) 10:15～16:20

会場 関西医科大学 枚方キャンパス
http://www.kmu.ac.jp/access/index.html/
〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
TEL:072(804)0101
京阪本線・交野線 「枚方市」駅 徒歩約3分

定員 280名
*定員充足の場合、締め切り前でもお断りすることがあります。

受講料 (テキスト代込) 会員:5,000円 非会員:15,000円
注)各近畿臨床検査技師会会員のみの場合は、非会員となります。

申込み方法

【受付期間】 平成27年9月1日(火)午前0:00～

9月14日(月)終日

- (1) メール件名に必ず「**生理研修会申込**」として、下記の必要事項を記載して、下記のアドレスまで申込みください。
- ① 氏名(フリガナ)、年齢、性別
 - ② 所属技師会 日本臨床衛生検査技師会 会員番号
 - ③ 施設名 住所 電話番号
 - ④ 連絡用メールアドレス(注: 携帯アドレス不可)
 - ⑤ 受講希望コース(1コースのみでお願いします。他のコースへの変更はできません。)
- (2) 受付受理後、参加番号、振込先を返信します。
受理通知受取後、振込時に、参加番号、氏名を必ず記入して受講料を納入ください。
- (3) 受講料入金確認後、当日持参していただく受講表をメールにて添付いたします。受講表は、プリントアウトして当日持参してください。

申込み・問い合わせ先

近畿支部 生理検査研修会事務局

E-mail:kinringi.seiri@gmail.com

電話連絡先:西宮渡辺心臓・血管センター 検査科

川崎 俊博まで

(代表)0798-36-1880(内線)768

重要:注意事項

- 当日、後日の入金を受付できません。
又、理由を問わず入金を頂いた参加費用はご返却できません。
- 受講表の持参
受付時の混雑を避けるため、受講表に『振込金受領書』を貼付してご持参ください。
- 連絡用メールアドレス について
入金確認後、受講表をお送りしますので、携帯電話アドレスは、ご遠慮ください。
対応できない場合は、事務局まで連絡をお願いします。

プログラム	内容
9:30～	申込みコース別受付開始
10:15～11:55	講義①
11:55～12:45	昼休憩
※昼食は、各自でご用意ください。	
12:45～14:25	講義②
14:35～16:15	講義③
16:15～16:20	閉講式

各コース内容

心電図コース

- 1 波形異常の見方・考え方
森嶋 良一 技師
- 2 不整脈の見方・考え方
安部 浩二 技師
- 3 臨床不整脈の見方・考え方
木田 順富 医師

心エコーコース

- 1 きれいな断層の出し方と基本計測のポイント
山崎 功次 技師
- 2 よく遭遇する弁膜症の評価とポイント
金子 裕 技師
- 3 技師が知っておくべき虚血と心筋症の評価とポイント
兵頭 永一 医師

血管エコーコース

- 1 下肢静脈疾患に有用なエコー評価法
小谷 敦志 技師
- 2 大血管・下肢動脈エコー検査の見方～描出のポイントとその評価～
大前 嘉良 技師
- 3 臨床医の立場からみた頸頭部血管エコーの活かし方
濱口 浩敏 医師

腹部エコーコース

- 1 基礎からの腹部エコー
有馬 隆幸 技師
- 2 検診領域における腹部超音波の評価
今川 昇 技師
- 3 症例の"ミカタ"有りマス
河谷 浩 技師

神経生理コース

- 1 耳鼻科領域の検査と技師の役割～聴力検査について～
福岡 恵子 技師
- 2 術中モニタリングの実際とポイント
涼 孝介 技師
- 3 小児疾患と脳波 ～てんかん診療の実際～
常石 秀市 医師

肺機能コース

- 1 スパイロメトリーの基礎
松田 浩明 技師
- 2 スパイロメトリーにおける換気障害と症例
清水 祥子 技師
- 3 呼吸機能検査を重要視する呼吸器臨床の実際
羽白 高 医師

学術部 生理検査部門 からのお知らせ

日臨技推進事業 生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

睡眠時無呼吸症候群 (SAS: Sleep Apnea Syndrome) は文字通り寝ている間に呼吸が止まる病気です。睡眠中の無呼吸状態により低酸素血症や高炭酸ガス血症となり、肥満や高血圧、高脂血症、糖尿病など様々な合併症を高率に引き起こすと報告されています。米国の調査では健康人と比べSAS患者では高血圧は2倍、虚血性心疾患は3倍、脳血管疾患は4倍発症する可能性が高いとされています。循環器合併症は重篤なものも多く、SASの早期発見・早期治療は合併症リスク軽減の重要な役割となります。

今回の定期講習会では、西宮渡辺心臓・血管センター副院長の民田浩一先生をお招きして、SASと循環器疾患の関連のメカニズムや最新の治療のお話を分かりやすく解説をしていただきます。皆さま、ふるってご参加ください。

Theme 「日常循環器診療に必要な睡眠呼吸障害の知識」

講師 西宮渡辺心臓・血管センター 副院長兼循環器内科部長 民田 浩一

日時 平成27年9月17日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

定員 100名(座席数)

※満員の際は入場をお断りする場合があります。

参加費 会員1,000円 非会員2,000円

※今回は日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 西宮渡辺心臓・血管センター 川崎 俊博

E-mail: kawasaki4552@gmail.com

学術部 病理細胞検査部門 からのお知らせ

細胞診定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今月のテーマは乳腺と甲状腺の細胞診です。どちらの領域も細胞診が確定診断につながる重要な検査です。

検体処理方法や基礎知識、細胞の基本的な見方や考え方を、良性病変から腫瘍性病変にわたり、わかりやすく解説していただきます。みなさまぜひご参加ください。

日時 平成27年9月14日(月) 18:30~20:30

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員1,000円 非会員1,500円

※大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利

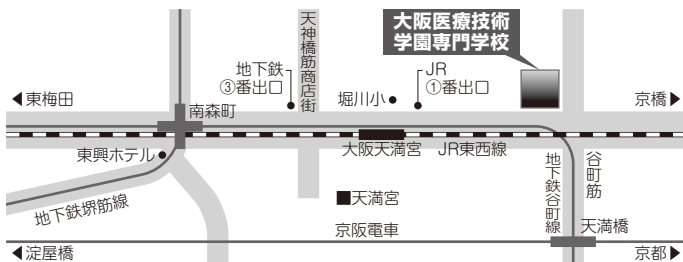
E-mail: kattu310a@gmail.com

1 乳腺の細胞診

講師：大阪府立成人病センター 龍 あゆみ

2 甲状腺の細胞診

講師：隈病院 鈴木 彩菜



予告 細胞検査士資格認定試験1次対策フォト形式模擬試験

来月は細胞診定期講習会最後の締めくくりとして模擬試験を行います！詳しくは大臨技ニュース10月号で確認してください。

日時 平成27年10月3日(土) 14:00~17:30

会場 関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

参加費 会員1,000円 非会員2,000円

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利

E-mail: kattu310a@gmail.com

講師 病理細胞検査部門 世話人



台風等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

学術部 微生物検査部門 からお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回の定期講習会は、ここ数年、世間で騒ぎとなっている蚊を媒介とするウイルス熱についてアリアメディカル(株)の原様に御講演いただきます。流行地への海外渡航で感染することは、よく知られておりますが、国内でも感染の危険がないとは言えない昨今の状況であると思われます。

暦の上では、季節は秋になる9月ですが、まだまだ暑さが残る季節であり、蚊も活発に活動している時期でもあります。蚊に刺されるリスクは、いたるところにありウイルス熱に罹患する危険性がないとは言えない状況ではないでしょうか? ウイルス熱に対する知識を習得することで、自己の感染予防の意識を高めてみてはいかがでしょうか? 皆様の多数の参加お待ちしております。

Theme 蚊媒介感染症 (マラリア・デング熱等)

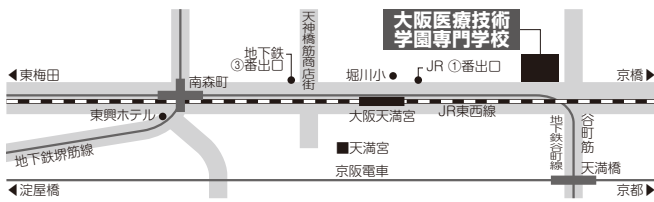
講師 アリアメディカル株式会社
サイエンティフィック サポート部 原 哲郎

日時 平成27年9月24日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円
*受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 微生物検査室 市村 佳彦
T E L : 06-6774-5111(内線2738)
E-mail: y.ichimura.orc@gmail.com



学術部 免疫血清検査部門 からお知らせ

日臨技推進事業

免疫血清検査部門 定期講演会3 (初級講座3)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

残暑厳しい折、夏の疲れは残っていませんか?さて、今年度3回目の免疫血清部門定期講演会は、新薬登場に沸いているC型肝炎に焦点をあてました。

1題目には、大阪医大病院の中原栄子先生を迎え、遺伝子検査についての基礎から経験談も交えてお話いただきます。2題目には、オーソ社の塩見選矢先生にC型肝炎マーカーの読み方・考え方をわかり易くご説明いただきます。新薬の登場によって肝炎マーカーの読み方に変化はあるのか、また結果の解釈に困った時にはどのようなアプローチが望ましいのかなどもご教授いただく予定です。まだまだ暑い日が続きます。夕涼みがてらに皆さま方の多数のご参加をお待ちしています!

日時 平成27年9月30日(水) 18:30~20:00

会場 大阪医科大学講義実習棟 学I 講堂

参加費 会員500円 非会員1,000円
*日臨技推進事業のため日臨技会員の方も会員扱いです。

定員 100名

連絡先 大阪医科大学附属病院 中央検査部 山本 憲司
E-mail: kns073@poh.osaka-med.ac.jp

- 内容
- 18:30~19:00
1. C型肝炎ウイルス遺伝子検査~基礎からのおさらい
講師: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 中原 栄子
 - 19:00~20:00
2. 肝炎マーカーの読み方・考え方~C型肝炎ウイルス
講師: オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社 C型肝炎検査事業部 学術・開発室 塩見 選矢



ACCESS

- ◆ JR東海道本線(JR京都線)「高槻」駅下車
南口より徒歩8分
- ◆ 阪急京都線「高槻市」駅下車
1番出口よりすぐ



台風等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

形態セミナー シニア

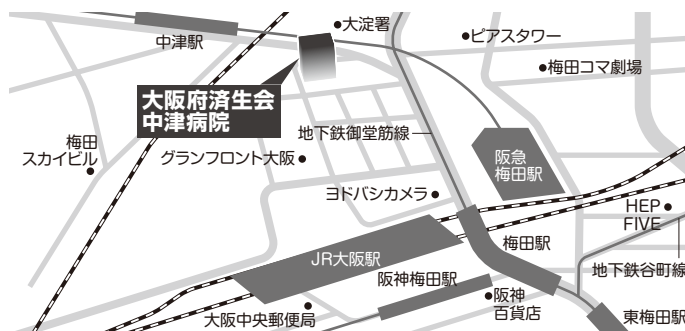
評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

日時 平成27年9月3日(木) 18:30~20:00

会場 大阪府済生会中津病院 南棟2階講堂

参加費 会員(オブザーバー)600円
非会員(他府県会員含む)1,000円
※参加費はお釣りのいかないようご準備ください

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641 (内線298)



会場が変更になる場合があります。変更がある場合のみ大阪府臨床検査技師会ホームページに掲載いたします。
前日に必ずホームページおよびメールの確認をお願いいたします。

日臨技推進事業 凝固セミナー(基礎)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

日時 平成27年9月26日(土) 14:20~17:00
(受付14:00~)

会場 あべのメディックス 6階ホール

参加費 会員500円 非会員1,000円
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱い。

共催 アイ・エル・ジャパン株式会社

- 14:20 第1部「技師に必要なDOACs情報」
アイ・エル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部
阪田 敏幸
- 15:30 第2部「教科書にはのらない凝固検査のウソ・ホント！」
京都府立医科大学附属病院 臨床検査部
由木 洋一



第1部について

新規経口抗凝固薬が登場して約4年が経とうとしています。Novel oral anticoagulants (NOACs)とか非ビタミンK阻害経口抗凝固薬 (Non-vitamin K antagonist oral anticoagulants: NOACs)またはアンチトロンビン非依存性に活性型凝固因子を抑制するので、direct oral anti-coagulant (DOAC) とも表現されたりします。これらをモニタリングするには、どんな検査が最適であると考えられているのか？PTやAPTTではどんな試薬間差があるのか？また、他の凝固検査にどんな正や負の影響をもたらすのか？そのあたりを、とてもわかりやすく解説していただきます。

第2部について

凝固検査は「難しい、よくわからない」とよく言われます。確かに凝固検査で得られた結果が、しばしば生体内の病態を正確に表さないことがあり、データの解釈に困ることがあります。しかもそういったピットホールの症例でのデータ解析に必要な知識は、参考書や教科書には記載されていなかったり、間違った情報であることが多く、そこ結果、疾患を見逃してしまうことになってしまいます。今回の講演では京都府立医大の症例を中心に紹介し、凝固検査データの見方についての「ちょっとしたコツや知識」について解説していただきます。

今回は関西の凝固分野を代表するお二人の講演です。聞き逃すと後悔するかもしれません。ぜひ、参加してください。なお、開始時間が14時20分となっていますので、お間違いのないようお越しください。



台風等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

日臨技推進事業 輸血中級講座



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

輸血療法は必ずリスクを伴います。今回の中級講座は、皆さまからのアンケートの回答でもよくあげられる輸血副作用をとりあげてみました。「輸血副作用にはどんなものがあるの?」「副作用が発生したけどどうしたらいいの?」「検査室は何をしたらいい?」こんな疑問にお答えします。ふるってご参加ください。

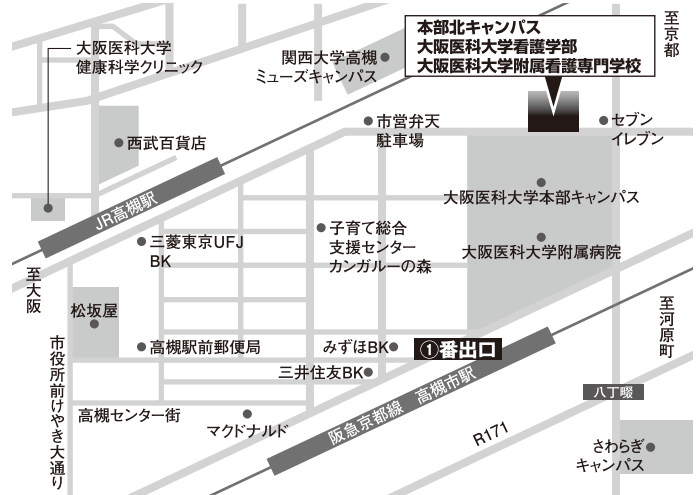
日時 平成27年10月3日(土) 14:30~17:30(受付14:00~)

会場 大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科講堂

参加費 会員1,000円 非会員2,000円
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱い。

連絡先 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail: yuketsu_osaka@yahoo.co.jp
T E L : 06-6372-0675

- 内容**
1. 非感染性輸血副作用
 2. 感染性輸血副作用
 3. 輸血副作用の管理



大臨技後援行事のお知らせ

第22回 SP研究会、講演会のご案内

Theme ~ 検体測定室の現状と臨床検査技師のかかわり方 ~

- 13:45~14:15 『地域包括ケアから見た臨床検査のゆくえ』
和光純薬工業株式会社 瀬戸口 浩二郎
- 14:15~15:00 『薬局における検体測定室の実際』
ダイドー薬品株式会社 山本保健薬局 山本 新一郎
- 15:15~16:15 『検体測定室の考え方・現状と今後の展開』~ケアプロの事例を通じて~
ケアプロ株式会社 予防医療事業部部長 落合 拓史

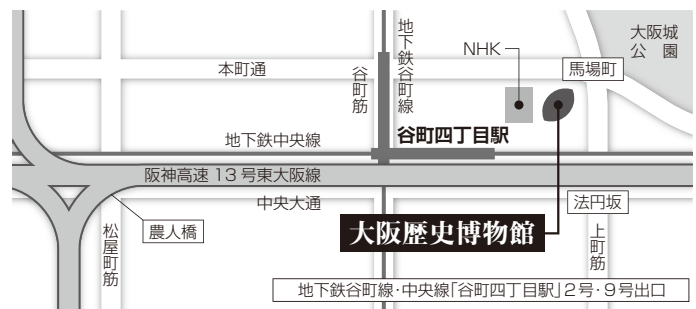
参加ご希望の方は、E-mail: nomura@hnc.bzもしくは、sp-info@spkenkyukai.comへ!

日時 平成27年9月5日(土) 13:45~16:30
(受付13:30~)

会場 大阪歴史博物館 4階講堂

参加費 1,000円

連絡先 株式会社 HNC 本町オフィス 野村
T E L : 06-4705-6388
F A X : 06-4705-6389



★《SP研究会会員募集中》★
詳しくはホームページをご覧ください。

SP研究会臨床検査

検索

平成27年度 大臨技 手話講演会

「医療現場に必要な手話」講師の「会社の保健室 保健室長」徳永京子先生に医療現場で聴覚障がい者の方がどうして困っているか、その場面でどう手話を使えばよいのかをわかりやすくご講演いただきました。参加された学生さんからの感想文を紹介します。



大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科 1年生 大山 朋海

「コミュニケーション」とは、“互いに言いたいことが伝わる”だけではなく、“互いの気持ちが伝わること”です。

医療の現場では「気持ちが伝わる」という一歩進んだ、コミュニケーションが必要です。今回、「医療現場に必要な手話」についてのお話を聞いて、一番感じました。耳が不自由な方々にとって、どこがどう痛いのか、どうして欲しいのか、病院に来てこれらを伝えるのは大変な苦勞です。受け取る側も、手話ができないと意志の疎通ができないと思っていました。しかし手話は一つの手段であり、しぐさや表情、それっぽい身振りだけでも十分相手には伝わります。何か手助けできることはないかと、一生懸命伝えようとする気持ちが一番大切なのだと今回教えていただきました。ありがとうございました。

大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科 1年生 加藤 由美子

一番印象に残ったことは、障がい者の方が、ケアを受ける施設の一つである病院で、想像以上に不便な環境に立たされているという点です。

病院では医療従事者とのコミュニケーションが取りづらく、例えば、採血などの検査説明は、大抵は音声の説明のみであり、何の検査なのか、何を指示されているのかを十分に理解できず主体的に参加することができないため、その結果不便さを感じているとのことでした。このことから、音声だけでなく手話や文字での説明をする必要があると実感

しました。そして、医療従事者として働く際には、その方の不便さを少しでも取り除くよう気を配り、手話や筆談で対応することを心がけたいと思いました。

特に印象深かった事が2つありました。第1に、手話はとても馴染みやすいものだと言うことです。例えば手話で「本や新聞を読む」と表現する時は、日常生活の中で誰もがしうる動作そのままイメージが付きやすく非常に覚えやすいものでした。

第2に、私達には何気ないことでも聴覚障がいの方には難しい場合が多々あることです。病院において薬を受け取る際に名前を呼ばれても気づけなかったり、カルテを書きながら話しかけてくる医師の顔が見えず意思疎通が難しくなったりすることなどです。現在、医療従事者でも手話ができる人は多くありません。将来私が病院で働くことになって耳が不自由な方を見つけたら、積極的に困ったことがないか手話で話しかけ歩み寄っていきたいと思いました。

大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科 1年生 森田 圭一

第27回 糖尿病療養指導士講演会

海の日(7月20日)の中之島センターにて糖尿病療養指導士講演会を開催しました。連休にも関わらず総勢114名の参加をいただき、そのうち臨床検査技師以外の職種の方は32名でした。2名の方より感想文をいただきましたのでご紹介します。

毎回、暑いか寒い時期に開催される講演会ですが、当日は梅雨明け宣言された日で早朝とはいえず外は茹だるような暑さにもかかわらず、会場は開演前から多くの参加者が詰めかけ満席の盛況ぶりでした。

今回のテーマは「知っておこう! 新たな血糖降下薬の登場と検査値への影響」。最近、自施設でも尿糖定量が増えてきたと思いカルテを開けるとカナル錠やフォシーガ錠の処方され、体重の変動が克明に記録されているのを目にすることがあります。SGLT2阻害薬は尿中に糖を排泄し再吸収をブロックと何となく理解していましたが作用機序等よく分かっていませんでしたので大変興味深く聴講させていただきました。



講演1部では山本先生が薬の概論として生理活性を持つ機序(構造)を「水に溶ける、溶けない」で分かりやすく表現され、副作用まで幅広くご講演頂きましたのでよく理解できました。これで私自身、薬の飲み方が変わるかも!! また、チューブ入りワサビがいつまでも新鮮さを保っている理由の説明が特に印象的でした。講演2部では森先生がSGLT2阻害薬を血糖コントロール目的だけではなく腎機能からみた発表をされ早期腎症の発症、進展の抑制が期待出来るという何とも良いとこずくめの薬である印象を持ち、これが新規透析予防に繋がってくれば本当に素晴らしいと思いました。

今回のように新しい知識を共有し冒頭の坂口先生のチーム医療に少しでも近づくことで近い将来の在宅医療に結びつくと

か、今後も講習会に参加し療養指導に役立てたいと思います。

関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部 堀井 邦寿

多職種が同時に勉強する講演会はあまりない中、本講演会は、幅広く他分野の先生方のお考えや知識も得ることができ、いつも有用です。今回は、「知っておこう! 新たな血糖降下薬の登場と検査値への影響」というテーマで、3人の先生方の講演をお聞きできました。

最初の坂口先生は、臨床検査技師として積極的に糖尿病患者さんや他職種に情報提供、治療にかかわられ、さらに自分たちにできることはないかと常に考えられていると感じられる心強いお話しでした。また、新たな血糖降下薬について、薬剤師の山本先生からは「薬」から見た副作用、指導時の注意点、代謝内分泌病態内科学専門の森先生からは「腎症」から見た新しい治療を紹介していただき、これらの薬についての知識の整理とその知識に深さを増すことができ、また最近の研究も知ることができました。



今回の講演会は、臨床検査技師の先生方の「チーム医療への関わり」で始まり、最後の森先生が、透析予防には「診療チームによる総合的(包括的)治療が効果ある」との言葉で締められました。糖尿病療養指導士として糖尿病患者さんのためにできるチーム医療の益々の充実を考え、継続していく重要性を再認識し、今回も有用な講演会に参加できました。ありがとうございました。

大阪警察病院 薬剤師 山根 淳子

日臨技近畿支部医学検査学会

＜平成27年10月17日(土)・18日(日)＞

大阪国際交流センターにて開催

学会ホームページURL

<http://www.osaka-amt.or.jp/kinki55/>

Theme

臨床検査から医療への主張

～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～

近畿学会まであと1ヶ月…。

みんな～！「学術」の大阪へ集まれ～！

また、大阪がスゴいのは、「学術」だけとちゃうんやで～！！

府民の皆さま(ご家族・ご友人・職場の仲間etc..)へのお誘いよろしく申し上げます！

10月18日(日) 10:00～15:00

1階ギャラリーにおいて 全国「検査と健康展」同時開催

当日、13:30～15:00 1階大ホールにて、府民公開講座「ふたごが拓く予防医学の未来」の講演があります。

□ 体験コーナー

- ・ 頸動脈エコー検査
- ・ 非観血的ヘモグロビン測定
- ・ 顕微鏡血液像
- ・ 唾液アマラーゼ測定

□ 展示紹介コーナー

- ・ カプセル内視鏡のご紹介
- ・ 臨床検査技師のご紹介
- ・ 臨床検査技師免許取得のための進学支援ガイダンス

参加費

無料

＜アニマルメタボメジャープレゼント！（数に限りがあります。）＞

連絡先

(公社)大阪府臨床検査技師会

T E L : 06-6763-5652 (月～金 13:00～16:00)

日臨技企画の紹介

10月17日(土) 10:40～11:40

Theme 2025年に向けての“決断”とは～検体採取の先にあるものとは～

演者 宮島 喜文(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会長)

内容

検体採取は検査の前の処置として考えれば一行為に過ぎないが、検体採取から検体検査まで一貫して臨床検査技師が実施することで、迅速かつ高い精度での検査結果が得られ、検体検査の精度保証が確立されるとともに、医師・看護師の業務軽減に繋がるとなれば診療の場における臨床検査技師は確固たる存在感を保持できるであろう。このことが将来の臨床検査技師の業務範囲の拡大や地位向上、待遇改善の原点にもなりうる。

現在、第一段階の法整備が完了し、第二段階の教育として「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を実施している。次は第三段階として、終了証を受けた臨床検査技師が臨床現場で実践するとともに、高度な医療技術や質の高い医療に対応できる人材育成するための環境整備に進める必要がある。

今後の医療現場での取り組みに対する支援策をはじめ、現在の厳しい環境を打破し、2025年に臨床権名S技師が保健・医療・介護の分野で生き残れるためには何が必要なのか。急速に変化する医療情勢をふまえ、私が考える“自らがパラダイムシフトから構築する戦略”を明らかにし、会員の皆さんとともに考えてみたい。

大臨技特別企画の紹介

10月18日(日) 10:00～11:00

Theme 臨床検査分野でのグローバル化

演者 坂本 秀生(神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科)

内容

日本では臨床検査業務として微生物検査や病理組織検査を含めた検体検査、生理学的検査、静脈採血、検体採取、MRIなどの画像検査も行える。しかし多くの国々では臨床検査とは検体検査および病理組織検査のみを指し、生理学検査や採血業務は別の資格者が行っている。

また、国家試験制度を用いない国、4年制大学を出た者(学士保持者)以上を臨床検査技師とする国もあるなど、国によって臨床検査業務が異なる。そのような各国の臨床検査事情を知ることで、日本の臨床検査技師に誇りを持ち、自信をもって世界に発信し、臨床検査分野のグローバル化につながる可能性を紹介する。

大臨技教育セミナー感想

今回の大臨技教育セミナーでは味の素株式会社『旨味の科学』という講演会を受講しました。私が一番驚いたのは減塩の料理に旨味調味料を加えるのと加えないのでは全然味が違ったことです。病院食と高齢者の方の食事に加える事により、減塩食でもおいしく食べる事ができQOLの向上に役立つという研究結果を聞き、旨味調味料の重要性を勉強になりました。

また、各校の卒業生の発表においては、治験ではCRCの現状と新薬の開発について興味を持ちました。内視鏡では動画による発表が現場の臨場感と処置器具の使用方法について学びました。

産婦人科では胎児出生前診断スクリーニング検査の実状について初めて知りました。認定資格については臨床検査技師の資格を取得した後のスキルアップする事の重要性和向上心を持ち続けることの大切さを学びました。今回のセミナーを通じて、今後の勉強に生かして行きたいです。

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科2年1組 橘田 明音



旨みの科学体験中

大臨技理事会報告 Executive board report

平成27年度 第4回(7月9日)開催分

1. 事務所用PCの2台を購入する事が承認された。
2. 研修会における世話人の参加費について
 - ・ 部会出席における経費5000円の扱いは日当ではなく、軽食費として計上する。
 - ・ 研修会での参加費は、徴収し軽食費として1000円計上する。
 - ・ 研修会での世話人の経費は、講師費として、1小間(60分) 5,000円で1日上限30,000円とする。
3. 第44回医療功労賞候補者の推薦依頼があり、該当者とされる候補者の推薦は8月10日(月)までに吉本副会長に連絡する。
4. 後援申請と共催申請
 - ・ 第22回SP研究会講演会開催：平成27年9月5日の後援申請は承認とした。
 - ・ 第9回日本医療マネジメント学会開催：平成28年2月27日(土)の後援申請は承認とした。
 - ・ 第28回糖尿病療養指導士講演会の共催申請は承認した。

大臨技事務局からのお知らせ

■ 平成27年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。詳細は大臨技ホームページをご覧ください。

※【重要】大臨技ニュース、大臨技ホームページを熟読の上、対応をお願いします。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引落しされます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に、必要事項を記入し、大臨技年会費5,000円を早急にお振込ください。

6月末日時点で会費未納の方には、「大臨技ニュース」等の当会発行物が送付されなくなりますので、ご了承ください。

3. 平成27年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会された方

大臨技新・再入会費2,000円をご返金いたしますので、大臨技事務局までご連絡ください。

■ 平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(大臨技のみの会員専用)について

平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」の募集は、7月25日を持ちまして終了いたしました。これ以降は、保険の募集は行いませんので、ご了承ください。

■ 大臨技退会申請について

大臨技退会を希望される方は、大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、大臨技事務所まで提出してください。

※【重要】日臨技・大臨技の両方を退会される方は、日臨技と大臨技の両方に退会の申請を行ってください。日臨技だけに退会申請しても、大臨技も同時退会したことにはなりませんのでご注意ください。

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■ 平成27年度大臨技会員証について

第2回目の発送（4月以降に年会費を納入された方）は、**8月末頃**の予定。

第3回目の発送（7月以降に年会費を納入された方）は、**10月末頃**の予定。

*会員証が届くまでの間に、勉強会等に参加される場合は、**会費をお振込みされた時の受領証を会員証代わりにご使用ください。**
 日臨技にも入会されている方は、**日臨技ホームページの「会員専用ページ」**から領収証を発行できますので、**その領収証をご使用ください。**

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし必要事項を記入の上、**大臨技事務局に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。**

再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「**会員登録証明ハガキ**」を会員証の代わりといたします。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号 届出書**」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録されます。

※【重要】届出が無い場合は、**翌年3月末日で除籍扱いとなります。**

■ 施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、当会事務局までご提出してください。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

自動化学発光酵素免疫分析装置

スフィアライトワコー

SphereLight Wako

- 迅速報告20分
- 処理能力 180テスト/時間
- 最大24項目をフルランダムアクセス処理



簡単・迅速を
追求しました。

医療機器届出番号:13B1X0013400024

HIGH
PERFORMANCE

腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、NSE、proGRP、CA15-3、PVIKA II
甲状腺	FT3、FT4、T3、T4、TSH
他ホルモン	PRL、LH、FSH、i-PTH、C-ペプチド、インシュリン
感染症	HCV抗体、HBs抗原、HBs抗体、TP抗体、H.ピロリ抗体
心疾患	NT-proBNP、トロポニンT、CK-MB、ミオグロビン
その他	ベプシノゲンI、ベプシノゲンII、フェリチン、IgE、β2-m、PCT

【機器・試薬販売元】 【試薬製造販売元】

和光純薬工業株式会社

【試薬製造販売元】

三洋化成
工業株式会社

【機器製造販売元】

日立アロカメディカル株式会社

【問い合わせ先】

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

TEL: 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成27年10月号の原稿メ切は**9月4日(金)**、11月号は**10月2日(金)**です。